

教員氏名	羽根 裕子	職位	教授
最終学歴	愛知教育大学大学院 教育学専攻 家政教育専修課程修了		
学位	家政教育学修士（愛知教育大学）		
資格	幼稚園教諭 1 級教員免許状（愛知県教育委員会） 小学校教諭 1 級教員免許状（愛知県教育委員会） 中学校教諭 1 級教員免許状（愛知県教育委員会） 高等学校教諭 1 級教員免許状（愛知県教育委員会） 教育職員免許法第 9 条の 3 「免許状更新講習」課程修了、更新試験合格第 7 1 7 号 NPO 法人日本ホスピタリティ推進協会・日本ホスピタリティ教育機構 「ホスピタリティ・コーディネーター」		
所属学会 (所属協会)	国際家政学会、アジア家政学会、日本衣服学会、日本家庭科教育学会 日本繊維製品消費学会		
担当科目	「生活と表現Ⅰ」「生活と表現Ⅱ」「生活と文化」「スタイリング」		
研究分野	家政・家庭科教育、生活文化、ライフスタイル、衣生活、衣環境、被服心理		
現在の研究テーマ	服飾教育と流行の関係、服飾教育における創造性 専攻科におけるホスピタリティマインドの育成 家庭科教育におけるレッスン・スタディの国際連携と日本からの発信		
教育方法の実践	1. 服飾教育において、学生に日本及び海外のファッショントレンドをデザイン、色彩、素材などのコンテンツで分析させ、服飾における自己表現力を高めた。 2. 専攻科マスターコース学生の海外留学の成果報告会を実施し、発表内容やプレゼンテーションの指導を行った。		
教育研究業績	<p><b>【著書】</b></p> <p>1. (共著)「国際会議「家庭科教育の質向上に向けてーレッスンスタディを視点として日本と世界をつなぐー」日本語版 (2018)</p> <p>2. (共著)“Toward Quality Improvement in Home Economics Education —Bridging Japan and the World Through perspectives on lesson study— ” English version (2018)</p> <p><b>【学術論文】</b></p> <p>1. (単著)「高等教育における服飾と流行ーファカルティ・ディベロップメントの取り組みⅠー」名古屋文化短期大学紀要 35 集 (2009)</p> <p>2. (単著)「高等教育における服飾と流行ーファカルティ・ディベロップメントの取り組みⅡー」名古屋文化短期大学紀要 36 集 (2010)</p> <p>3. (共著)「家政学における日本のレッスン・スタディの研究 」国際家政学会誌 (2018)</p> <p>“A Study of Japanese Lesson Study in Home Economics” International Journal of Home Economics 2018</p> <p><b>【学会発表】</b></p> <p>1. (単独)「家政系大学生の衣生活観」日本家庭科教育学会 (2010.11.)</p>		

2. (単独)「服飾教育における創造性」国際家政学会メルボルン (2012.7.)  
 ‘Development of Creativity in Fashion Education’  
 International Federation for Home Economics
3. (単独)「服飾教育と流行―「衣生活論」における授業方法向上を目指す取り組み―」日本家庭科教育学会 (2012.12.)
4. (共同)「「レッスン・スタディ」の国際的動向と日本における家庭科の授業研究」  
 日本家庭科教育学会 (2015.6.)
5. (共同)「日本における家庭科の授業研究の特徴」国際家政学会アジア大会香港  
 (2015.8.)  
 “Characteristics of Japanese Lesson Study in Home Economics”  
 The 18 Biennial international congress of Asia Regional Association for Home Economics 2015
- 6.(共同)「イングランドにおけるレッスン・スタディの動向」日本家庭科教育学会第  
 59 回大会(2016.7)
- 7.(共同)「諸外国の家庭科のカリキュラム分析―学力の獲得と教師の協働性に焦点を  
 当てて―」第 23 回国際家政学会韓国 (2016.8)  
 “Comparative Analysis of Current Home Economics Curriculums  
 Worldwide: Focusing on Competencies and Peer Learning System among  
 Teachers”  
 International Federation for Home Economics2016 in Korea
- 8.(共同)「日本の授業研究とそこで培われる学力の分析―家庭科授業実践の報告書を  
 基に―」第 23 回国際家政学会韓国 (2016.8)  
 “General Academic Ability Fostered by Home Economics lessons Developed in  
 ‘lesson study’: Evidence from Elementary, Junior High, and High School  
 Reports”  
 International Federation for Home Economics2016 in Korea
- 9.(共同)「日本の家庭科教師の授業研究による授業力向上」第 23 回国際家政学会韓  
 国 (2016.8)  
 “How Japanese Teachers Improve their Teaching Skills through Lesson Study”  
 International Federation for Home Economics2016 in Korea
- 12.(共同)「グローバルな視野で世界の家庭科をつなぐ」日本家庭科教育学会  
 (2016.12)
- 13.(共同)「家庭科研究グループによる授業研究と教師の変容」第 60 回日本家庭科教  
 育学会大会(2017.6)
- 14.(単独)「日本伝統文化を重視したホスピタリティ教育の実践」国際家政学会アジ  
 ア大会 (日本) (2017.8)  
 “The Practice of Hospitality Education in Japan Focusing on Japanese  
 Traditional Cultures “  
 international congress of Asia Regional Association for Home Economics

	<p>2017 In Japan</p> <p>15. (共同)「家庭科教育におけるレッスン・スタディのモデル構築」国際家政学会アジア大会 (日本) (2017.8)</p> <p>“A Lesson Study Model Proposed for Home Economics Education” international congress of Asia Regional Association for Home Economics</p>
競争的資金獲得	<p>2017 In Japan</p> <p>1. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 課題番号 15H03505 「国際連携研究を土台とした生活者育成をめざすレッスン・スタディのモデル構築」分担研究者 (平成 27 年度～平成 30 年度)</p>
国際会議に関する事項	<p>1. Effective Paradigm of Education to strengthen and promote the value of Home Economics-Focusing on Lesson Study and community based learning- August 2017</p> <p>Hosting a international conference as a member of research group in the Japan Association of Home Economics Education.</p> <p>家庭科教育の質向上に向けて—レッスン・スタディと地域連携を視点として— 日本家庭科教育学会課題研究グループの一員として「家庭科のレッスン・スタディ」をテーマにした国際会議を主催。海外からの家庭科教育研究者が日本のレッスン・スタディを DVD で体験、グローバルな視点で協議を行い、将来への展望と可能性を検証。</p>
学内の活動	<p>1. 専攻科特別公開講座の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エレガントウォーキング」ウォーキングドクター、デューク更家氏を講師に迎え、正しい歩き方による美と健康を維持する講座を開講。(2008 年～2015 年)</li> <li>・「華麗なる紅茶の世界」ティーコーディネーター、熊崎俊太郎氏を講師に迎え、紅茶の歴史、文化、英国伝統紅茶、紅茶とスイーツのハーモニーを学ぶ講座を開講。(2008 年～毎年)</li> <li>・イタリア料理「セッタンタ」オーナーシェフ水口秀介先生を迎え、一般、同窓生、在学生、高校生を対象に、クリスマスのイタリアンクッキング講座を開催。(2016～毎年)</li> </ul>